

立科町誌 民俗編 目次

口絵写真
はじめに
例 言

題字 立科町長 遠山順孝
民俗編主任 小林寛一

第一編 蓼科山にいだかれて 1

第一章 ムラのつきあい 3

第一節 家の生活 3

一 家長の座 3

家長の仕事／相続／相続者／相続時期

二 主婦の座 4

主婦の仕事

第二節 本家と分家 6

はじめに

第一節 カロートが建つまで 25

本家と分家の呼び名／本家・分家の間のつきあい／分家慣行

第三節 親しい仲間 9

第四節 ムラのしくみ 10

ムラの共有財産／ムラの仕事／ムラ仕事に出ない場合／ムラの構成／ムラの役員／区長の仕事／役員の選出方法／役員任期／役員報酬／ムラヨリアイ／ムラ規約／ムライリ／ムラの一年／ムラの財政

第二章 墓とクルワ 24

二一 ミウチ（小分節）によるカロート カロート	29
三 単独の家によるカロート	
第四節 カロート建立の背景	30
第五節 カロートと社会	32
一 カロート建立の社会的意味	32
二 カロートとクルワ	32
統合の主張／クルワの分節化／クルワの解体	34
三 社会組織のくみかえ	
社会組織のくみかえ	
流行と忌避	
おわりに	
第六節 大日信仰とツカツキの習俗	36
一 塩沢区を中心として—	36
はじめに	36
一ツカ（墳墓）のようすと大日如来	40
おわりに	43
第三章 水のめぐみ	
第一節 塩 沢 壩	45
一 塩沢堰の水路	45
二 塩沢堰の運営・管理	46
塩沢堰の一年間／水耕伏せ／水利慣行／水番	108
第二章 なまらわい	
第一節 稲 作	
田畑の面積／種糲／苗代／田打ち／畔塗り／代かき／ 田植え／田の草取り／稻刈り／稻こぎ、糲すり／	
第二節 養 蚕	
第三節 畑作、その他	
薬用人参／りんご	
第四節 生業暦の変遷	
第五節 諸 職	91
一 鋼治屋 M氏七八歳（茂田井）	106
二 石工 T氏六六歳（町）、K氏七二歳（町）	106

第二節 宇 山 壩	
一 宇山堰の水路	
二 宇山堰の運営・管理	
第三節 牛 鹿 壩	
第一節 稲 作	
田畑の面積／種糲／苗代／田打ち／畔塗り／代かき／ 田植え／田の草取り／稻刈り／稻こぎ、糲すり／	
第二節 養 蚕	
第三節 畑作、その他	
第四節 生業暦の変遷	
第五節 諸 職	86
一 鋼治屋 M氏七八歳（茂田井）	88
二 石工 T氏六六歳（町）、K氏七二歳（町）	88
第一節 塩 沢 壩	
一 塩沢堰の水路	
二 塩沢堰の運営・管理	
塩沢堰の一年間／水耕伏せ／水利慣行／水番	108

三 大工 Y氏六七歳（細谷）	2 塩沢区の事例
四 左官 K氏七〇歳（中原）	4 クルワで祭る神
五 茅屋根葺きの職人 Y氏六七歳（西塩沢）	112 114
第五章 人の往来	111
第一節 交 通	117
一 道と交通施設	117
道の呼び名／分岐点と道標	117
二 運搬法と運搬道具	118
人力による運搬／大きな石・木の運搬／畜力／車輛運搬	118
第二節 交 易	121
一 訪れる人	121
行商人／馬喰／芸能民	121
二 養蚕と交易	123
養蚕／勘定と買い出し／旅と社寺参けい	123
第六章 神への祈り	129
第一節 神とのかかわり	129
一 家に祭る神々	129
二 屋敷に祭る神	129
1 はじめに	129
第三章 神の祭り	130
第一節 神社と祭り	130
一 村社とムラの祭り	130
二 村社の祭り	130
三 村社の祭り	130
四 村社の祭り	130
五 村社の祭り	130
第二節 祭りの種類	131
一 祭りの種類	131
二 祭りの種類	131
三 祭りの種類	131
四 祭りの種類	131
五 祭りの種類	131
第三節 祭りの内容	132
一 祭りの内容	132
二 祭りの内容	132
三 祭りの内容	132
四 祭りの内容	132
五 祭りの内容	132
第四節 祭りの日程	133
一 祭りの日程	133
二 祭りの日程	133
三 祭りの日程	133
四 祭りの日程	133
五 祭りの日程	133
第五節 祭りの場所	134
一 祭りの場所	134
二 祭りの場所	134
三 祭りの場所	134
四 祭りの場所	134
五 祭りの場所	134
第六節 祭りの目的	135
一 祭りの目的	135
二 祭りの目的	135
三 祭りの目的	135
四 祭りの目的	135
五 祭りの目的	135

六 女性を中心とした講中	159
十九夜念仏／彼岸念仏／葬式後の念仏／おまるめ念仏	
／日待ち念仏	
七 稲荷信仰	163
ムラで祭る稻荷社／講中で祭る稻荷社／個人で祭る稻	
荷社	
八 道祖神信仰	166
1 呼び名	
2 祭祀物	
3 祭場（まつりば）	
4 道祖神の性格と伝承	
5 道祖神祭り	
道祖神の年取り／ドンドヤキ／ウマヒキ／シシマイ	
第三節 寺と地域の人びとのつながり	173
一 無量寺の元三大師講と年中行事	174
二 光徳寺の年中行事	175
三 津金寺の年中行事	175
四 寛聚院の祈とう	176
第四節 蓼科山と人びとのかかわり	176
はじめに	177
一 蓼科山に伝わる伝説	176
デイラボッヂの伝説／双子池の伝説／雨乞い	
二 蓼科山と天候の予知	179
第五節 新田開発者と村社	184
一 語り継がれる開発史—伝承のなかから—	184
塩沢堰／堰の開発／先人の偉業／熊野権現と苗代桜／	
六川長三郎勝家という人	
二 大将家と水利慣行	187
大将家／水利慣行／初代長三郎の命日／田植え	
三 八幡様の祭り	187
田の神としての八幡様／鬼門よけ／雨乞い	
四 氏神様の祭り	189
村社の景観／神社の組織／歳神様／村社の祭り／コン	
ピラ様／氏神様の例祭／三〇〇年祭	
五 新田開発村の小宇宙論	190
氏神様と八幡様／塩沢新田という小宇宙	
第七章 蓼科の移り変わり	192
はじめに	196

三 雪形による農業の予知／天候の予知

蓼科山のめぐみ

旅の安全を祈る／カヤカリのヤマノクチ／家畜用の草刈り／サデサラ／薪採り／炭焼／釣り、狩猟／きのこ採り

四 ヤマとサトのサカイ

塩沢堰／堰の開発／先人の偉業／熊野権現と苗代桜／

六川長三郎勝家という人

第二節 果樹園と草刈り···	197
一 財産組合···	197
二 炭焼き···	199
入札／炭の種類と製法／窯／炭の生産量／炭の売却／ ヤキコとモトジメ／私有地における雇用関係／炭焼き の衰退／炭焼きの意義	
三 現在の山仕事···	204
第三節 莸科牧場···	204
一 沿革···	204
二 放牧業務···	204
放牧の期間と目的／放牧頭数／料金体系／家畜の管理 業務／牧野保全	
三 電話の管理···	204
四 観光業務···	206
五 勤務形態···	207
第四節 観光···	208
はじめに···	208
一 学校・自治体関係の宿泊施設の管理期···	207
二 喫茶店の経営···	207
三 ペンションの経営···	212
A 校寮／自治体寮の管理	210

第一編 サトの暮らしと祝いごと

四　観光振興のために……	218
観光協会／白樺高原観光事業協同組合／蓼科音楽祭／ アップル・フェスティバル／美観保持のための規制	
第五節　生業と家族生活……	220
一　通学問題……	220
二　家族経営と生活……	220
三　居住／イメージとの両立	221
第六節　社会組織の発展と生活基盤の整備……	223
一　「区」組織の整備……	223
二　区の内部組織……	223
三　区内部の社会関係……	226
四　茅野側との関係……	227
戦前の蓼科／桐陰寮の設立／蓼科部落の誕生	228
おわりに……	229

<p>第一節 婚姻</p> <p>はじめに</p>
<p>一 婚約と結納</p> <p>1 婚約 ナコウド（仲人）／見合い／通婚圈／結婚の承諾／酒入れ／恋愛結婚</p>
<p>2 結納 品物を贈る／お金を贈る</p>
<p>3 嫁入り 嫁の荷送り／婿入り／嫁の生家の出方／ナカヤド／入家儀礼／シリタタキ（尻たたき）／草履の鼻緒を切る／アガリハナで水を飲む／式／里帰り</p>
<p>4 嫁の苦楽 嫁の苦勞／嫁の楽しみ</p>
<p>第二節 妊娠・出産</p>
<p>一 妊娠 妊娠の告知／帶祝い／妊娠の禁忌</p>
<p>二 出産 安産の願い／出産の場所／トリアゲバーサン／出産／出産と夫／出産後の産婦の食事・仕事／ウブタキ／ウブユ（産湯）／シチヤ（御七夜）／セツチンマイリ（便所参り）／産見舞い／お宮参り／クイゾメ／虫封じ</p>

第三節 歳 祝 い

一 初誕生祝
二 節 供(句).....
三月節供／五月節供

第四節 喪・葬

男の厄年／女の厄年／厄落しの方法

一死
喪

タマヨビ／死に水／死者への供え物／告げ人／葬家の

標識

二通夜

委員長
李偉

三
納
棺

ボヤキ／香典

四野辺送り

道具作り／喪家の者／出棺／葬列／シャンボミチ（葬

式道) / 精進落とし / 忌み明け・年忌

第五節 位牌分け

一位牌分けの時期

二 位牌分けのやり方

盆踊り／旅芸人

第一章 子どもの遊びと三頭獅子

第七節 祝い歌・仕事歌・子守り歌

259 259 259

第一節 体力競技

一 外倉の獅子

276 276 276

相撲／力くらべ

第二節 子どもの遊び

1 伝承地と祭りの沿革
2 踊り役の装束と採り物
獅子／ハイオイ

260 260 260

乳児の遊び／幼児の遊び

第三節 軒遊び

3 嘘子と踊り唄

261 261 261

お手玉／お手玉歌／まりつき／おはじき

第四節 外遊び

二 藤沢の神楽
1 伝承地と祭りの沿革
2 踊り役の装束と採り物
獅子／ハイオイ

264 264 264

パッチ（パッチン）／ビーダマ／こま回し／輪回し／

クギトオシ／竹馬／竹とんぼ／鬼遊び／カクレンボ／

／鬼ごっこ／みやことり／おはらめ／冬の遊び／自然

物（草木）を利用した遊び

第五節 集団遊び

三 桐原の神楽
1 伝承地と祭りの沿革
2 踊り役の装束と採り物
獅子／ハイオイ

269 269 269

兵隊ごっこ／カンチヨースライ／輪になつてやる遊

び／とおりやんせ／花いちもんめ／コカイ／ゴムとび

／石投げ合戦

第六節 盆踊り・旅芸人

四 古町の獅子
1 嘘子屋台
2 伝承地と祭りの沿革

272 272 272

2 踊り役の装束と採り物
獅子／道化

3 嘩子方／演舞と唄
喧子方と踊り唄

五 立科地区の獅子舞の特色 282
娘時代／嫁入り／嫁の生活／母としての生活／戦争中の生活／女の生活

第三章 一年の祝い事

第一節 正月行事 285
すすはらい／松迎え／しめ縄作り／餅つき／しめ飾り

／大晦日／元日／仕事始め／棚もとさがし／かにどし

／七草／物作り／どんど焼き／山の神祭り／初えびす

／鬼の目玉

第二節 春の行事 292
衣服の調達／衣服の再生／衣の知識／嫁入り支度／嫁

衣装／喪服／着物の紋／衣服を着る順位／ヨソイキ／

チュウクライモノ／チョイチヨイギ／フダンギ／仕事

着（シゴトギ・ノラギ）

2 男の衣生活

婚礼衣装／着物の紋／日常の着物（フダンモノ）／労

働時の着物（シゴトギ・ノラギ）

3 子どもの衣

生れつ児の衣服／子どもの日常着

まとめ—女性の生活と労働—
労働力としての女性

第四節 秋・冬の行事 298
風祭り／十日夜／かや刈りの山の口／えびす講／冬至

端午の節句／七夕／土用／お盆

第四節 秋・冬の行事 294
端午の節句／七夕／土用／お盆

風祭り／十日夜／かや刈りの山の口／えびす講／冬至

第五章 食べる

第一節 食物自給の全貌 316

はじめに

第一節 女性の生活

一 茂田井の事例 300

娘時代／嫁入り／嫁の生活／母としての生活／戦争中の生活／女の生活

二 桐原の事例 300

Fさんの生活／Hさんの生活

三 牛鹿の事例 307

1 女の衣生活

衣服の調達／衣服の再生／衣の知識／嫁入り支度／嫁

衣装／喪服／着物の紋／衣服を着る順位／ヨソイキ／

チュウクライモノ／チョイチヨイギ／フダンギ／仕事

着（シゴトギ・ノラギ）

2 男の衣生活

婚礼衣装／着物の紋／日常の着物（フダンモノ）／労

働時の着物（シゴトギ・ノラギ）

3 子どもの衣

生れつ児の衣服／子どもの日常着

まとめ—女性の生活と労働—
労働力としての女性

第四章 着る 300

る

第六章 住まう

第六章 住まう			
第一節 日常の時と空間			
二 野山より／水辺より	317	二 野から川から田んばかり	316
一 センゼーバタケから	317	一 センゼーバタケから	317
二 食生活を支える野菜の栽培／そ菜園の占める割合／そ 菜園の配置／そ菜園の運営／自給作物の消費	323	二 食生活を支える野菜の栽培／そ菜園の占める割合／そ 菜園の配置／そ菜園の運営／自給作物の消費	323
三 自給作物栽培の知恵／ そ菜園覚書／自給作物栽培の特色	323	三 自給作物栽培の知恵／ そ菜園覚書／自給作物栽培の特色	323
四 作物と人付き合い···	325	四 作物と人付き合い···	325
五 贈答用作物	327	五 行事食用の作物···	327
六 正月料理／ウサギ	328	六 そのほかの食物の調達···	328
七 主食／味噌・醤油／行商人	329	七 食生活の変容···	329
第二節 儀礼食の管理	331	核家族化	331
一 婚礼の食事···	331	東京オリンピック／牛乳／栽培作物の変化／農機具／	331
二 葬儀の食事···	331	一 母屋のなか···	331
リヨウリニンになるまで／下準備／婚姻儀礼の料理／ リヨウリニンの心得／買物帳	331	二 庭／土間の入り口／屋根／土間	331
第三節 母屋の周辺	331	二 晴れの空間···	331
一 井戸／便所／付属建造物／センザイバタケ／屋敷神	331	オカツテ／チャノマ／ザシキ	331
第四節 変化の諸相	331		331
第五節 部屋の改造／公民館	331		331
一 部屋の改造／公民館	331		331
二 亡くなつた晩／手伝い／ジャンボン／葬式後ヒトナノ カ／シジユーレンチ／ヒヤツカソチ／イチネンキ／シ チネンキ／最近の葬儀	331		331

一 農家の暮らしと民家

立石のT氏方／山部のT氏方／西塩沢のI氏方

二 集落形成と民家

水を求めて立地する民家—桐原／街道に沿つて立つ民

家—茂田井

石／矢ヶ入／お子安様／中屋敷の一本櫻／日の出地蔵
尊／茂田井の木の宮社（城の宮）／青木原稻荷（彦左衛門稻荷）

第七章 ムラの伝説

第一節 伝説 366

一 蓼科山につたわる伝説

蓼科山／甲賀三郎／赤沼の池（女神湖）の河太郎／鋤

柄の雪女／麦草の尺取り／唐沢の山姥／水井出の山人

／与惣殿塚／鳴石／水分の大神／柱石／天狗岩／お座

り岩／御鞆石／天龍石／双子池／桜谷／びんみず（鬱

水）／蓼科の靈鳥獸／蓼科山の靈木／お手水井（変若

水井）／雨境

二 立科町の伝説 371

夫婦石／蛇石／いぼ石／蓼科神社里宮／釜石神社／亡

殿／仁王像／竜王の松／龍王権現／兜松／乞清水／神

戸／商人久保池／剣井戸／水切り石／入定原／立石／

胡麻を作らない話／藤沢の大日堂／大盜賊靈神／土蔵

の中の怪音／日限地蔵尊／苗代桜／塩の井弁財天／木曾松／獄門場／金原／あかづの池（赤頭池）／腰かけ

358 361 366 366 366

第八章 土地の呼び名

第一節 歴史の中の地名

はじめに 382

命名の心理／自然からの命名／生活からの命名／地名

の変化

一 史料と地名

前貴平の由来／黒姫社／鬼の土地／江戸時代の郷土誌

二 中世の藤沢の地名

中世の史料／指出の地名／推定できる地名の位置／記

載の順序／水に苦しむ中世の藤沢／竹居氏の館

三 江戸初期の山部の地名

指出形式の検地と村名／寛永の検地／山部村の野引帳

／野引帳の地名／前久保通りの地名／田畠の地名／山

道通りの地名／後半の地名／奇妙な一致

四 寛文の検地

寛文の検地／二村の分村／開発の年次／七左衛門の開

いた田畠／開発の進展と地名／現在の地名の原形／單

純化する地名／境界のずれ／植物と地名／新田の地名

第二節 歴史と地名

415

401

392

386

383

382

382

10

一 中世からの地名.....	在家地名／カイト地名／別府／反田地名.....	421	丁寧・親愛の表現.....	1
二 新しい小字.....	変更された小字／観光開発と地名.....	422	推量・意志・勧誘の表現.....	2
三 境界の地名.....	石合戦／境界の神／芦田八社口／複雑な信仰／十二／	422	助詞の用法.....	3
	境界の目印／虎御前／雨乞の巫女／境界の原野.....			
第三節 自然と地名.....			あとがき 「立科町誌 民俗編」関係者名簿	455
一 地形と地名.....	地形と地名.....	428	刊行会委員 執筆者 調査協力者 協力員 話者名簿 写真・	450
二 水と地名.....	清水の地名／川の地名／湿地の地名／池と堰.....	432	資料提供者 町誌編纂委員 事務局関係（教育委員会・町誌編纂室）	452
三 区分する地名.....	区分地名／日照による区分地名／前裏地名／日向と日影／高低差による区分地名／谷の区分.....	436		
第九章 ムラのことば.....				
第一節 方言の表現.....				
1 あいさつの言葉.....				
2 動作の表現.....				
3 状態の表現.....				
4 人柄の表現.....				